

令和7年度 事業報告

I 公益目的事業会計

1 農業支援事業

農作業の省力化、生産性の向上、優良農地の確保等を図るため、地域の実情に応じた農作業の支援を行う。

(1) 機械作業事業

①機械作業委託事業

【内容】 地域の実情に応じ、農作業を受託組合や機械を所有するオペレーターへ仲介・あっ旋し農家の支援を行う。

【事業量】

令和7年度 受託者54者（受託組織13・個人41）、利用農家2,059戸

（令和6年度 受託者54者（受託組織13・個人41）、利用農家1,998戸）

内 訳		令和6年度		令和7年度				
		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	田 植 え	70 ha	54.2 ha	70 ha	61.0 ha	△ 9.0 ha	87%	113%
	代 掻 き	73 ha	66.9 ha	73 ha	73.1 ha	0.1 ha	100%	109%
	耕 起	60 ha	49.3 ha	60 ha	54.6 ha	△ 5.4 ha	91%	111%
	防 除	30 ha	21.8 ha	30 ha	23.1 ha	△ 6.9 ha	77%	106%
	小 計	233 ha	192.2 ha	233 ha	211.8 ha	△ 21.2 ha	91%	110%
	水 稻 苗	10,000 枚	10,359 枚	10,000 枚	9,916 枚	△ 84 枚	99%	96%
秋	耕 起	20 ha	21.3 ha	20 ha	21.6 ha	1.6 ha	108%	101%
	米 収 穫	109 ha	94.8 ha	109 ha	108.3 ha	△ 0.7 ha	99%	114%
	そば 収 穫	1 ha	1.4 ha	1 ha	1.6 ha	0.6 ha	158%	113%
	小 計	130 ha	117.5 ha	130 ha	131.5 ha	1.5 ha	101%	112%
	粃 運 搬	500 t	437.2 t	500 t	514.4 t	14.4 t	103%	118%
合 計		363 ha	309.7 ha	363 ha	343.3 ha	△ 19.7 ha	95%	111%
		10,000 枚	10,359 枚	10,000 枚	9,916 枚	△ 84 枚	99%	96%
		500 t	437.2 t	500 t	514.4 t	14 t	103%	118%

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化や後継者不足により、不耕作地が増加している。 ・機械作業の作業面積、受託者及び利用農家については、ほぼ前年度並みである。 ・JA等と協力して事業について周知し、機械作業ができないことによる不耕作地の発生を抑制していく。
-----	--

(2) 農作業お手伝いさん事業

【内 容】 農作業お手伝いさんにより繁忙期の果樹作業等の支援を行う。

【事業量】

令和7年度 お手伝いさん160名、利用農家 315戸

(令和6年度 お手伝いさん158名、利用農家 343戸)

内 訳		令和6年度		令和7年度				
		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	りんご	41,000 時間	36,505 時間	41,000 時間	33,824 時間	△ 7,177 時間	82%	93%
	ぶどう	15,000 時間	10,205 時間	15,000 時間	8,873 時間	△ 6,127 時間	59%	87%
	もも	8,000 時間	6,855 時間	8,000 時間	6,701 時間	△ 1,300 時間	84%	98%
	なし	1,000 時間	1,036 時間	1,000 時間	1,113 時間	113 時間	111%	107%
	その他	3,000 時間	2,089 時間	3,000 時間	540 時間	△ 2,460 時間	18%	26%
	小計	68,000 時間	56,690 時間	68,000 時間	51,051 時間	△ 16,950 時間	75%	90%
秋	りんご	28,000 時間	26,437 時間	28,000 時間	24,997 時間	△ 3,003 時間	89%	95%
	ぶどう	150 時間	844 時間	150 時間	428 時間	278 時間	285%	51%
	なし	100 時間	0 時間	100 時間	0 時間	△ 100 時間	0%	0%
	その他	1,750 時間	1,329 時間	1,750 時間	27 時間	△ 1,723 時間	2%	2%
	小計	30,000 時間	28,610 時間	30,000 時間	25,452 時間	△ 4,549 時間	85%	89%
合計		98,000 時間	85,300 時間	98,000 時間	76,503 時間	△ 21,497 時間	78%	90%

考 察	<p>・農家の高齢化等により、農作業お手伝いさん事業への依頼は増加傾向にあるが、お手伝いさん事業従事者の高齢化に伴う離職や、他産業同様人手不足が深刻化している中で、新たな従事者の人材確保が進まないことなどから、作業依頼に十分に応えられない状況にある。</p> <p>・お手伝いさんを確保するための新たな試みとして、お手伝い事業従事者へ友人等紹介依頼をかけた、高齢者等が集まる各種施設(公民館、図書館、老福センター等)へのチラシ設置などを実施した。</p> <p>・既に需要と供給のバランスが崩れかけており、今後の人手不足や賃金値上げなどを踏まえると、人員確保はさらに難しくなることから、利用農家説明会を開催し、人員確保の選択肢として下記①～③を推奨し積極的な利用を呼びかけている。</p> <p>①農業1日バイトアプリ「daywork」の活用 ②農福連携による障がい者派遣 ③農地中間管理事業による担い手への農地貸出等</p> <p>・企業等の副業を活用したお手伝いさんの確保について検討していく。</p>
-----	---

農作業員(お手伝いさん)講習会

【内 容】農作業お手伝いさんの作業内容についての理解促進や技術向上を図るとともに、事故防止、安全管理を徹底するための講習会を開催する。

【事業量】

令和6年度			令和7年度		
	計画	実績		計画	実績
回数	15回	18回	回数	15回	18回
人数		372人	人数		394人
前年比(人数)		84%	前年比(人数)		106%

令和6年度			令和7年度			
月日	場所	参加者	月日	場所	参加者	内 容
4月9日(火)	長野平	8人	4月8日(火)	長野平	12人	事業説明会
4月10日(水)	川中島	8人	4月10日(木)	川中島	16人	//
4月22日(月)Am	若穂	4人	4月22日(火)Am	若穂	14人	新人実技研修(リンゴ花摘)
4月22日~23日	若穂	55人	4月22日~23日	若穂	48人	目揃会(リンゴ花摘)
4月25日(木)Am	長沼	7人	4月24日(木)Am	長沼	5人	新人実技研修(リンゴ花摘)
4月25日~26日	長沼	86人	4月25日~26日	長沼	83人	目揃会(リンゴ花摘)
5月16日(木)Am	真島	7人	5月16日(金)Am	真島	12人	新人実技研修(桃摘果)
5月16日(木)Pm	真島	7人	5月16日(金)Pm	真島	7人	// (リンゴ摘果)
5月21日(火)	赤沼	7人	5月22日(木)	赤沼	7人	新人実技研修(桃摘果)
5月23日(木)	若穂	10人	5月28日(水)	若穂	15人	// (ブドウ房切り)
6月7日(金)	真島	2人	6月7日(金)	真島	7人	// (桃袋掛け)
6月20日(木)	若穂	3人	6月20日(木)	若穂	2人	// (ブドウ房摘粒)
8月26日(月)	柳原	91人	8月25日(月)	柳原	72人	秋期農作業安全研修会
8月27日(火)	稲里	50人	8月26日(火)	稲里	52人	秋期農作業安全研修会
9月6日(金)	赤沼	5人	9月5日(金)	赤沼	4人	新人実技研修(リンゴ葉摘)
9月9日(月)	真島	7人	9月10日(水)	真島	10人	事業説明会
9月17日(火)	真島	8人	9月16日(火)	真島	13人	新人実技研修(リンゴ葉摘)
9月29日(金)	真島	7人	9月26日(金)	真島	15人	新人実技研修(リンゴ葉摘)
合 計		372人	合 計		394人	

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・新人実技研修会では、作業に必要な技術習得と共に、脚立の安全な使用方法について講習し、作業従事する前にJA技術員等の指導を受けることで、安定した技術力を提供することができた。 ・例年実施している秋期農作業安全研修は、社労士による農作業時の安全確保に関する講義のほか、保健師による熱中症対策や理学療法士による転倒予防講座などより実践的な内容とし、従事者の安全への意識向上を図ることができた。 ・農地巡回による農作業安全パトロールを実施し、利用農家及びお手伝いさんへ事故防止に向けた安全管理の徹底を図った結果、重大事故の発生を防止できた。 ・引き続き、パトロール等の実施により安全管理の徹底を図り、事故防止に努めていく。
-----	---



実技講習会の様子



安全パトロールで啓発活動



安全研修の様子

労働保険（労災）事故

令和6年度			令和7年度		
発生日	発生状況・傷状	性別	発生日	発生状況・傷状	性別
7月12日	三脚から落下した事故	男	8月29日	三脚から落下した事故	男
	左手のひら 切創			右大腿部筋損傷	
11月9日	三脚から圃場隣接の溝に落下	女	10月21日	車両転倒（通勤災害）	男
	両上肢打及び臀部の打撲			異常なし	

(3) 専門作業事業

【内 容】 農家の剪定作業を専門作業員に委託する。

【事業量】

令和7年度 作業員90名、利用農家168戸

(令和6年度 作業員70名、利用農家168戸)

内 訳		令和6年度		令和7年度				
		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	りんご	50 時間	72 時間	50 時間	3 時間	△ 47 時間	6%	4%
冬	りんご	2,500 時間	2,568 時間	2,500 時間	2,743 時間	243 時間	110%	107%
	ぶどう	300 時間	0 時間	300 時間	0 時間	△ 300 時間	0%	—
	もも	1,000 時間	1,083 時間	1,000 時間	1,373 時間	373 時間	137%	127%
	なし	150 時間	0 時間	150 時間	0 時間	△ 150 時間	0%	—
	小 計	3,950 時間	3,651 時間	3,950 時間	4,116 時間	166 時間	104%	113%
合 計		4,000 時間	3,723 時間	4,000 時間	4,119 時間	119 時間	103%	111%

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・春の作業実績は、前年比4%となっているが、降雪が少なく順調に作業が進んだことによる、集計期の差異による結果であることが大きな要因である。冬季については、積雪が少なく暖かい日が続く順調に作業が進んだ。 ・栽培農家の高齢化・栽培面積の縮小等により、作業が減少傾向である。 ・引き続き、JA等と協力して作業員や利用農家の確保に努めていく。
-----	---

(4) 農福連携事業

【内 容】 農業分野の労働力不足と福祉分野の就労機会不足など、双方の課題解決に向けて農福連携の取り組みを推進する。農業公社に専任職員を配置し、障害者就労支援施設等と連携しながら農作業お手伝いさんを育成し、農家へ派遣する仕組みをつくる。

【事業量】

① 農業者（作業依頼者）や障害者施設（作業請負者）等の開拓

	令和6年度	令和7年度
請負登録施設	22施設	22施設

②農作業技術研修会の企画・実施（果樹・野菜等）

	令和6年度	令和7年度
作業体験会	4回	6回
安全講習会	1回	0回

③農作業の依頼に対するマッチング、派遣

	令和6年度	令和7年度
マッチング	75件	86件

④その他

- ・事業所(福祉施設)の活動視察 18回
- ・市民への広報活動 ニュースレター「農福連携のススメ」の発行、SNSによる活動報告

考 察	<p>・農作業依頼に応じて障がい者を派遣するマッチングについては、実績を伸ばしており、事業開始5年目となり農福連携の浸透が進んでいる状況である。</p> <p>・作業を請負う障がい者就労施設の参加が横ばいの状況であり、今後は各施設へのアンケート・聞き取り調査を行い、先進地の取り組み事例なども参考とし、請負施設の増加のための方策を検討する。</p>
-----	--



農作業体験会（菊芋収穫）



ニンジン収穫の様子

(5) 農業法人化事業

【内 容】 地域グループの法人化に向けた農業経営の支援を行うとともに、設立及び増資に対する出資や助成を行う。

出資：出資総額又は、資本金の2分の1未満で、500万円を限度（一般農業法人対象）

助成：出資総額又は、資本金の2分の1未満で、250万円を限度（農事組合・農業生産法人対象）

【事業量】

	令和6年度	令和7年度
出資・助成	(出資) 0法人	(出資) 0法人

考 察	<p>・既出資事業6件5社のうち、令和4年度に1件1社の事業が終了した。</p> <p>・令和6年度に持分譲渡期限を迎えた1社から譲渡の延長申し出がされた。</p> <p>・引き続き、法人の設立や増資を希望する者に寄り添った取り組みを進めていく。</p>
-----	---

2 農地対策事業

多様な担い手が安定的かつ継続的な農業経営が行えるよう、農地中間管理権を設定し担い手へ貸し付けることにより、農業経営規模の拡大、農用地利用の効率化等を促進する。

(1) 農地利用集積円滑化事業（円滑）

【内容】 農地の効率的な利用、その集積を促進するため、市公社が農地所有者から借り入れ、意欲のある農業者に貸付けを行う。令和2年4月1日制度廃止に伴い新規契約停止。

【事業量】

(単位:ha)

内 訳	令和5年度	令和6年度			令和7年度		
	年度末 保有面積	計画	解約及び 移行面積	年度末 保有面積 ①	計画	解約及び 移行面積 ②	年度末 保有面積 ①-②
賃貸借契約 (有償)	8.8	2.8	3.0	5.8	2.8	2.7	3.1
使用貸借契約 (無償)	1.4	0.6	0.5	0.9	0.6	0.1	0.8
合 計	10.2	3.4	3.5	6.7	3.4	2.8	3.9

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑化事業の制度廃止以後、契約期間満了となるものを中心に農地中間管理事業への移行を進めたため、同事業による保有面積は減少している。 ・引き続き、農地中間管理事業への移行手続きを進めていく。
-----	--

(2) 利用権設定等促進事業（相対）

【内容】 農用地の利用の集積等により農業者の経営基盤の強化を促進する事業。農地法3条同様に貸主、借主の二者による契約である。市農業政策課が契約関連事務を行っていたが、令和6年度末の制度廃止に伴い令和6年12月末に新規契約停止。

【事業量】

内 訳		対象面積 (ha)	対象筆数 (筆)	対象人数 (人)
相対契約移行対象 (R8.3.31満了分まで)	全体	29.0	371	186
	① 中間対応希望	15.5	195	99
	② 中間契約済	9.6	120	60
	進捗率 (②/①)	62%	61.6%	60.7%

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・農業政策課が相対契約の期間満了時期に基づき実施している貸手・借手双方への意向調査結果に基づき、農地中間管理事業による貸借契約への移行作業を行っている。 ・意向調査未提出者への対応、双方の希望条件の調整が必要な場合が多く事務量が増加しているが、順次、中間への移行を進めていく。
-----	---

(3) 農地中間管理事業 (中間)

【内 容】 長野県農地中間管理機構が農地を借り受け、担い手へ貸し付けることにより農業経営規模の拡大、農用地の集団化、農用地利用の効率化を促進する。(長野市内の農地の貸借契約事務については、長野市農業公社が受託している。)

【事業量】

(単位:ha)

	令和5年度末 保有面積	令和6年度				令和7年度			
		計画	契約 面積	解約等	年度末 保有面積 ①	計画	契約 面積 ②	解約等 ③	年度末 保有面積 ①+②-③
賃貸借契約 (有償)	678.0	75.0	61.3	12.4	758.4	115.0	58.5	15.7	836.0
使用貸借契約 (無償)			31.5				34.8		
合 計	678.0	75.0	92.8	12.4	758.4	115.0	93.3	15.7	836.0



農業委員会 地区調査会



現場での立会

(令和7年度 契約面積内訳)

合計93.3ha

地区	詳細	* 契約面積
北部地区	豊野・長沼・古里・朝陽・柳原・大豆島・浅川・若槻	23.0ha
東部地区	若穂・松代	27.3ha
中部地区	更北・川中島	9.7ha
西部地区	第1～第5・芹田・古牧・三輪・吉田・安茂里 ・小田切・芋井・七二会・戸隠・鬼無里・中条	10.6ha
南部地区	篠ノ井・信更・大岡・信州新町	22.7ha

*:円滑化事業及び相対事業から中間管理事業へ移行した面積と中間管理事業で新規契約した面積の合計。中間から中間への更新(63.1ha)は含まない。

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画を上回る契約実績(中間から中間への更新を含めた場合)により保有面積は増加しており、年度末保有面積は前年比77.6ha増となった。 ・新規契約だけでなく、今後増加が見込まれる中間から中間への更新、相対から中間への移行も併せて、引き続き、農用地の利用の効率化を促進していく。
-----	---

(4) 市民農園管理運営事業

【内容】 市民の農業に対する理解促進や、収穫の喜び・健康増進を図るため、土に親しむ場として、農園及び菜園を提供する。

【事業量】

① 市民菜園 総面積 66,247㎡ (令和6年度 70,351㎡)

内 訳	令和6年度				令和7年度			
	開設数	設置区画数	利用区画数	利用率	開設数	設置区画数	利用区画数	利用率
計 画	72	999	999	100%	69	977	977	100%
年度実績	69	977	776	79%	65	917	731	80%
前年比	96%	97%	96%		100%	94%	94%	

② 市民農園 総面積 12,990㎡ (令和6年度 12,990㎡)

農園名	令和6年度			令和7年度		
	設置区画数	利用区画数	利用率	設置区画数	利用区画数	利用率
松代東条	30	28	93%	30	30	100%
篠ノ井小森	27	27	100%	27	27	100%
信更安庭	47	12	26%	47	18	38%
篠ノ井青池	34	24	71%	34	23	68%
合計	138	91	66%	138	98	71%
前年比	100%	98%		100%	108%	

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・市民菜園は、令和7年度末に4菜園が廃止になった。 ・R7年度は市農業政策課等と共同で、利用率が低迷している安庭市民農園PR事業を新たに実施した。(農園で、市・公社職員と長野県立大生が野菜づくりをし、その様子を動画撮影、SNS等で幅広い世代に発信する取組み)
-----	--



長野市公式YouTube

職員によるYouTube動画配信



長野市農業政策課Instagram

県立大生によるInstagram動画配信

3 マーケティング開発事業

農畜産物の生産安定・品質向上を図るため、企業と連携した加工や需要に対応した農業生産を促進する。また、ホームページ等により広く公社のPRを行い、会員情報発信により商品の販促及び商談機会の創出を目的にスピーディーな情報提供を行う。また、会員の販売機会の提供を目的に直売市を開催するなど、会員の農業収益向上に寄与することで地域の活性化に寄与する。

(1) 広報宣伝事業

【内容】 消費者、流通事業者、生産者の情報共有のため各種イベント等へ参加する。公社ホームページを活用し、広く公社事業及び会員のPRを行う。

【事業量】

広報宣伝活動、PRイベントへの参加

	令和6年度	令和7年度
広報宣伝活動、PRイベントへの参加	2回	5回
ホームページの更新	14回	12回

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市農業祭を中心に、地域や団体から依頼されたイベントに積極的に参加した。 ・7月18日(金)のヘーゼルナッツビールお披露目イベントや、翌日には長野Uスタジアムでの販売などで、ヘーゼルナッツの認知度向上を目指すイベントに協力や企画をした。 ・長野駅観光情報センターや長野電鉄長野駅において、「ながのいのち」の商品展示や看板等を掲載するなどして、商品のPRを行った。
-----	---

(2) 「ながのいのち」推進事業

中山間地の活性化を目的に策定した地域ブランド「ながのいのち」の推進を図る。
「ながのいのち」推進協議会への支援

【内容】 地域

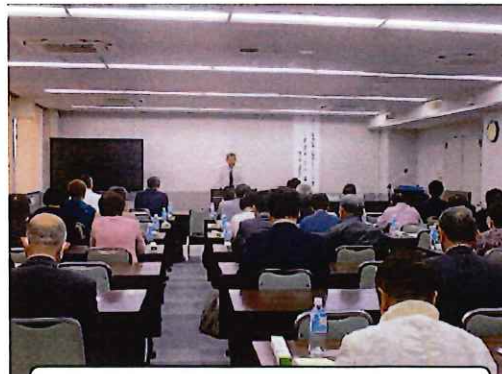
【事業量】 推進協議会の主な取組み

	令和6年度	令和7年度
長野銀座にぎわい市	30回 (売上 13,181,940円)	31回 (売上 15,517,630円)
旬菜市in OYAKIFARM	2回 (売上 1,379,750円)	2回 (売上 1,281,340円)
旬菜市 in 長野ターミナル会館	2回	2回
旬菜市in 長野電鉄	4月～6月	4月～6月
旬菜市 in とまと食品館(7月～常設)	—	売上 3,756,463円
「さといも善光寺」里帰りを進める会支援	5回	8回

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の事業計画に沿って進めてきた。長野銀座にぎわい市の売上はこれまでの最高額を記録し1550万円余を記録し、3年連続での最高額を記録した。 ・7月より新たに“とまと食品館”にて「旬菜市inとまと食品館」として会員の農産物や「ながのいのち」認定商品の専門売り場を常設し、順調な販売となっており会員からも喜ばれている。但し、青果物が少ない冬期間の売り場をどうするか課題である。
-----	---



旬菜市in長野電鉄駅



「ながのいのち」会員研修



長野銀座にぎわい市



旬菜市inとまと食品館

(3) 「ながのいのち」商品認定制度

市内で生産された優れた農産物や加工品を、「ながのいのち」ブランド品として認定し、消費者の信頼を高め、生産者の意欲増進を語る。

【内 容】「ながのいのち」商品認定委員会を開催し、商品認定の審査を実施する。

- 認定委員 高野 豊 (長野市農業公社アドバイザー)
 横山 タカ子(料理研究家)
 中澤 弥子 (県立大学 食健康学科教授)
 竹内 正彦 (JAグループ長野県農工研農業開発研究部 技術専門役)
 村井 善晃 (長野市農林部長)

【事業量】

	令和6年度	令和7年度
認定商品	0品	0品

9月に第1回の審査会を予定したが、審査申請会員の都合により、審査を辞退されたため中止となった。

考 察	・特産品開発支援事業対象の商品を認定商品として審査対象に推進し、審査募集を徹底し審査会の開催に努めたい。
-----	--

(4) グリーン・ツーリズム推進事業

交流人口の増加による農村の活性化を図るため、都市住民の農作業体験、農家民泊等を促進する。

長野市子ども夢学校受入れ協議会への支援

【内 容】 小中学校等の長期宿泊体験活動や学習体験旅行等の受入れを進め、地域活性化を図るために設立した「長野市子ども夢学校受入れ協議会」と連携して事業を推進する。

【事業量】

受入れ組織名	令和6年度		令和7年	
	受入校数(延)	受入人数	受入校数(延)	受入人数
鬼無里修学旅行受入れ実行委員会	1校	42人	1校	45人
大岡グリーンツーリズム倶楽部	6校	439人	6校	421人
信里食育体験民泊受入れの会	3校	24人	6校	90人
芋井農村民泊受入れの会	12校	638人	14校	516人
七二会農家民泊の会	3校	17人	0校	0人
信州新町民泊受け入れの会	6校	111人	4校	56人
若穂農家民泊の会	6校	312人	8校	426人
松代農村民泊の会	6校	271人	8校	364人
計	43校	1,854人	47校	1,918人
前年比	179%	217%	109%	103%
受入れ校数(実数)	中学校14校、高校2校		中学校18校、高校2校	

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整会議や、ワーキング会議を複数回開催し、体験料の改定や、適正な保険加入について研修や検討を行った。 ・関西方面からの受入れから、関東方面(東京・千葉)からの受入れに主体が変わってきているため、馴染みの薄い関東方面及び中京方面の開拓が必要になってきている。 ・既に取り引がある旅行代理店でも世代交代により農家民泊を体験したことがない若手職員に農家民泊を体験してもらうことで、事業の継続を図った。 ・受入れ側の農家の掘起こしなど行い、受入側としての課題に向けた取組みを強化する。(中条・小川村・塩崎・小松原・豊野等)
-----	---



東武トップツアーズ若手職員研修

(5) 特産品開発・加工支援事業

①特産商品開発支援補助事業

【内 容】 自家農産物や畜産物を利用した地域特産品の開発や加工等を支援し、農産物の生産拡大を図る。

【事業量】

	令和6年度	令和7年度
支援商品数	3品	2品

【支援商品】

令和6年度		令和7年度	
大豆コロッケ	(有) たんぽぽ	りんごブランデー	(株)西飯田酒造店
ワイン	浅川葡萄農園	ぶどうネクター	保科みなみ農園
煎り酒	道の駅 中条		

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産原料を使用し、付加価値をつけた加工品開発に対して支援を行い、長野市の特徴ある商品となるよう補助を行った。またふるさと納税返礼品として対応するよう推進した。
-----	---

②ヘーゼルナッツ商品開発PR事業【新規事業】

【内容】ヘーゼルナッツを使用した商品の開発や開発支援を行い、長野市産ヘーゼルナッツの認知向上を図る。

【事業量】

令和7年		
計画	実績	前年比
—	2品(1品継続中)	—

【支援商品】

令和7年12月末	事業者
ヘーゼルナッツビール	NAGANO BREWERY
ヘーゼルナッツ入りポップコーン	(一社)長野市農業公社
新商品(事業継続中)	(株)デザートランドりんごの木

考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘーゼルナッツビールを7月に発売し、早期に入手困難な状況となり、高い評価を得た。 ・ヘーゼルナッツ入りポップコーンについては、10月開催の農業フェア、11月開催の長野銀座にぎわい市で来場者等に配布した。また令和8年1月末開催の全国中学校スケート大会で出場選手にプレゼント。「ヘーゼルナッツと言えば長野」を市内外に向けてPRした。 ・事業継続中の新商品については令和8年秋発表の予定。
-----	--



発売記念特別販売
2025.7.19 長野Uスタジアム

Ⅱ 法人会計

1 社員総会・理事会

定款の規定に基づき、社員総会・理事会を開催する。

(1) 総会

【内 容】 定款第13条の規定による総会の実施

【回 数】 4回

【付議事項】 役員を選任・解任、事業計画及び収支予算並びに事業報告及び収支決算の承認等

① 令和7年4月1日(火) 第1回社員総会(書面決議)

ア 役員を選任について

② 令和7年6月2日(月) 第2回社員総会

ア 役員を選任について

③ 令和7年6月2日(月) 定時社員総会

ア 令和6年度事業報告について

イ 令和6年度収支決算について

ウ 理事及び監事を選任について

エ 役員報酬について

④ 令和8年2月9日(月) 第4回社員総会

ア 令和8年度事業計画について

イ 令和8年度収支決算について

(2) 理事会

【内 容】 定款第31条の規定による理事会の実施

【回 数】 6回

【付議事項】 業務執行の決定、理事の職務の執行の監督、副理事長及び専務理事の選定等

① 4月1日(火) 第1回理事会(書面開催)

ア 専務理事の選任

② 6月2日(月) 第2回理事会

ア 副理事長の選任

③ 6月2日(月) 第3回理事会

ア 令和6年度事業報告について

イ 令和6年度収支決算について

ウ 賛助会員の承認について

④ 6月2日(月) 第4回理事会

ア 役員を選任について

⑤ 12月19日(金) 第5回理事会(書面決議)

ア 令和7年度9月期事業報告について

イ 賛助会員の承認について

ウ 就業規則の改定及び雇用条件に係る規程の整備について

⑥ 令和8年2月9日(月) 第6回理事会

ア 令和7年12月期事業執行状況について

イ 令和8年度事業計画について

ウ 令和8年度収支予算について

2 処務

会社の事務執行に伴う、会計処理、職員の福利厚生、事務処理等を行う。

(1) 職員福利

【職 員】 派遣職員7人

(長野市派遣5人、JAグリーン長野派遣1人、JAながの派遣1人)

嘱託職員15人、臨時職員1人、パート職員160人(お手伝いさん)

(2) 経理事務

【内 容】 公益法人会計基準に基づく会計処理、事業実施に伴う事務処理等

Ⅲ 固定資産

固定資産の取得(新規購入、新築、増築、修理、取替)、売却及び廃棄処分等を行う。

(1) 基本財産

① 定期預金 500万円(JAグリーン長野/JAながの)

② 有価証券1,400万円

(有)たんぽぽ 400万円/80口、(株)キラリ信更500万円/500株

合同会社裾花ていばん家 250万円/250口、クボ田ファーム(株)250万円/250株

(2) 特定資産 基本財産取得準備預金 1,150万円